

日々のノート作りによる経験学習
—西田将浩氏『キャリアパスポート「げんごか先生」の開発』
への溝上の解説1—

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

<http://smizok.net/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長（2020-2021年）。京都大学博士（教育学）。

*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。
公益財団法人電通育英会の助成を受けて行われています

No196

キャリアパスポート 「げんごか先生」の開発

高校生の日々の学習・活動から
人生へと概念化させるキャリア支援

西田将浩様

(進路指導・キャリア教育支援機構 代表理事)



溝上慎一の教育論「動画チャンネル」(基本的に毎週水・土に配信しています)

(ご紹介)



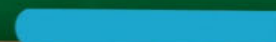
西田 将浩

にしだ まさひろ

一般社団法人進路指導・キャリア教育支援機構
代表理事

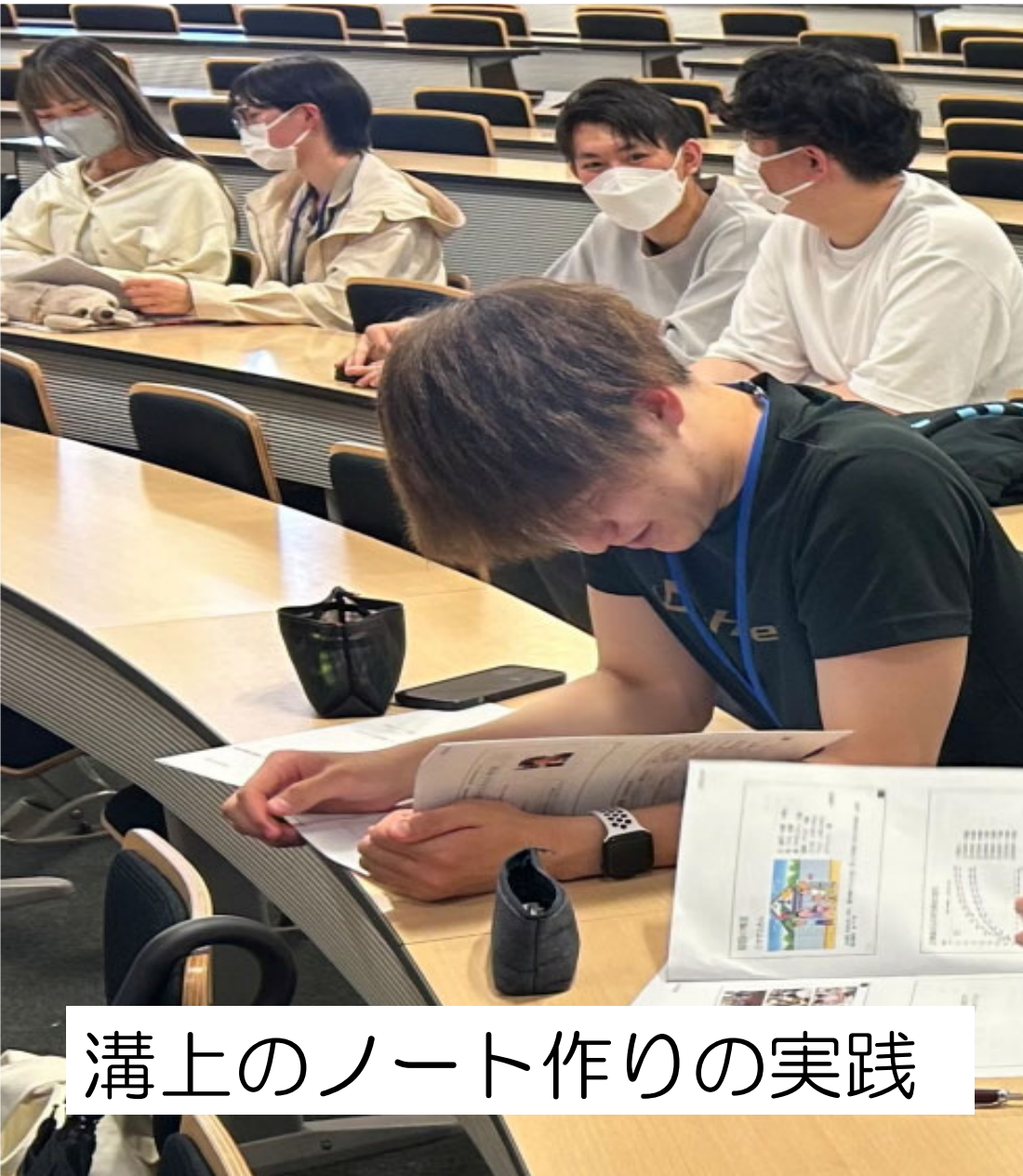


1981年生まれ 福岡市西区出身 野球部・捕手
大学1年の時に受講した教職課程の授業を機に
「進路指導の在り方」を追究。
大学卒業後は国内外で教育事業を展開する企業
に就職し、最年少・最短で営業課長に就任し、
キャリア教育とSDGs経営・人材育成を学び、
起業。



お伺いしたこと

1. 溝上先生が考えられている最新のキャリア意識の概念やキャリア意識醸成のためのご実践
2. 1を踏まえた時、私たちのモデルや言葉選びをアップデートするとしたらどのようなことが考えられるか



2/11 ポスとリターンの違いへ 前ページののぎ
 ・ポスは 時間通りに来という、リターンは 時間前に来ている
 ・ポスは 失敗の責任を追わせる、リターンは 然。失敗を処理する。
 ・ポスは やり方を 胸に教める、リターンは やり方を具体的に教える。
 ・ポスは 仕事を 苦役に 変える、リターンは 仕事を 仕事に 変える。
 ・ポスは 「やれ」という、リターンは 「やろう」という。
 ▼ イギリスの高級百貨店に「セレクト」創業者 セレクトの言葉

2/12 近畿大学 教授の講演会から
 失敗の捉え方
 失敗というのは、おにぎりを、その瞬間に止まってしまうから失敗
 なので、失敗を受け入れて、リアリティ、試行錯誤して、
 成功するまで繰り返して、あつ時の失敗が、必要なもので
 あつたことを知る。つまり、理論上、失敗はないもの、
 世の中に存在しないという話である。
 ↓ 2024年...
 失敗なんてしないから、ビジネス 挑戦すると。

2/13 口羽さんから
 チームが 勝つために、今自分は何をしなければいけない
 のか、年上であろうと 関係ない、勝つためにやろうとする
 コーチというの、そういう立場、さうわねたら 嫌とか、人の顔色
 うかがいながら、やっていると、何にもならない
 この目が 変わる マスで ありと 思っている 成長しろ

No. 2023.06.29
 Date

2/14 第2回 文武両道セミナーを振り返る。
 いまでも書き直したいノートに 粘りだして、どう大事に 粘りだした。
 このノート作りは 正解がない、自分で いろいろ試して、いけば 分かる
 ということ、ノートとどだけ自分で 作っているか、大事であり、その
 過程が 最も 大切なのである。自分なりの 正解を見つけて、初めは
 100点を 目指さず、徐々に 100点に 近づけていくこと、重要なのである。

2/15 監督から (理事長の言葉)
 このノート作りは 何となく (野球やサッカーなど) のためにやるの
 はなく、賢くなるために 自分の言葉と文にして 表現していくこと
 目的なのである。

2/28 元王子高岸の言葉
 “やれ”で 5分 “いい”は 10分 “やらせ”は 10分 “いい”は 10分
 自分から 発議的 受け手、やらせたい
 ↳ やらせられれば、自分自身に 責任を 負わせる、本意の 成長を 促す。

2/27 監督から
 “足の速いやつほど 走塁に興味をもちなさい”
 足が速いから、スラッシュはない、早くこぼす、スラッシュは 足の速い
 は 関係なく、どれだけい スラッシュ できるか、ベースに 2つ 踏
 どの 打点 エナジーを 1つ、良い 走塁 できるか、1つ 踏 走
 ることで、足の 走塁 興味を 持つのである。

溝上のノート作りの実践

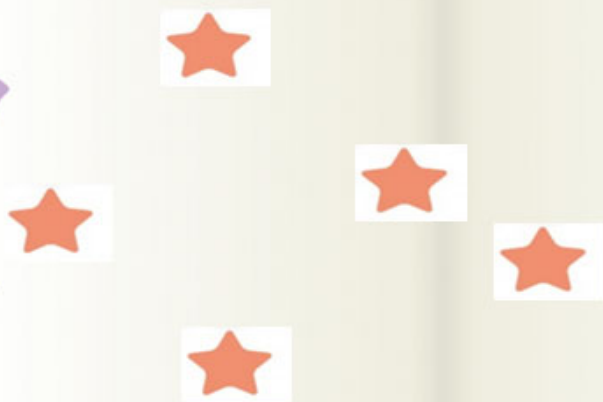
それではご覧ください

ノート作りの授業・セミナー



No136

**自身の学びと成長のための「ノート作り」。すごい！！！！
—(大阪府私立)帝塚山学院高校生にインタビュー—**



2/11 ~ ボスとリーダーの違いへ 前のページののぎ

- ボスは 時間通りに来いという、リーダーは 時間前にやってくる
- ボスは 失敗の責任を追わせる、リーダーは 黙って失敗を処理する。
- ボスは やり方を胸に秘める、リーダーは やり方を具体的に教える。
- ボスは 仕事を苦役に変える、リーダーは 仕事をゲームに変える。
- ボスは「やれ」という、リーダーは「やろう」という。

▼ イギリスの高級百貨店デパート「セルフリッジズ」創業者 セルフリッジの言葉▼

2/12 近畿大学教授の講演会から
失敗の捉え方

失敗というのは、なにをせして、その瞬間に止まってしまうから失敗なのであって、失敗を受け入れて、アップデートして、試行錯誤して、成功するまで続けてしまえば、あの時の失敗が 必要なものであったことを知るのである。つまり、理論上、失敗なんというものは世の中に存在しないという事なのである。

↓ このときは...
失敗なんてしないから、どっどっ挑戦するよ。

2/13 口羽さんから

チームが勝つために、今自分は何をしなければいけないのか、年上であろうと関係ない、勝つためにやっているのである。コーチというのはそういう立場。きろわれたら嫌とか、人の顔色うかがっているから、やっても何もならない。

★ この目が 変われる チョイスであると思っ**て**いる かわれ!! 成長しろ!!

2/14 第2回文武両道セミナーを振り返る

「いつでも書き込みたいノートに悩むために」という大きなお題であった。このノート作りには正解がない。自分がこういうふうにしていくのがいいとか、つくぞ」というノートをどれだけ自分で作っていきけるかが大事であり、その過程がとても大切なのである。自分なりの正解を見つけ、初めから100点を目指さず、徐々に100点に近づけていくことが重要なのである。

2/15 監督から。(理事長の言葉)

このノート作りはセカンドキャリア(野球が終わったあと)のためにやるのではなく、賢くなるために自分の言葉を文にして表現していくことが目的なのである。

2/28 六甲高岸の言葉

「やればできる」はいいけど「やらなきゃダメ」になっ**て**はいけない。
自分の、意欲的 受け身、やらずにいる

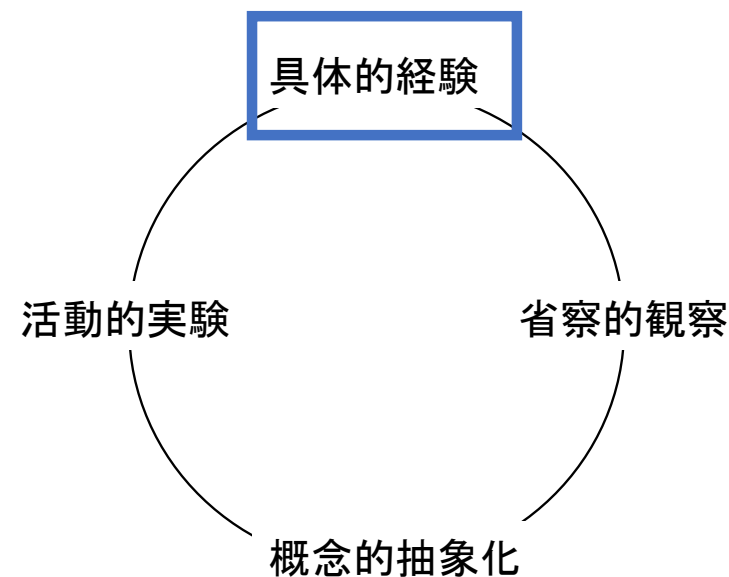
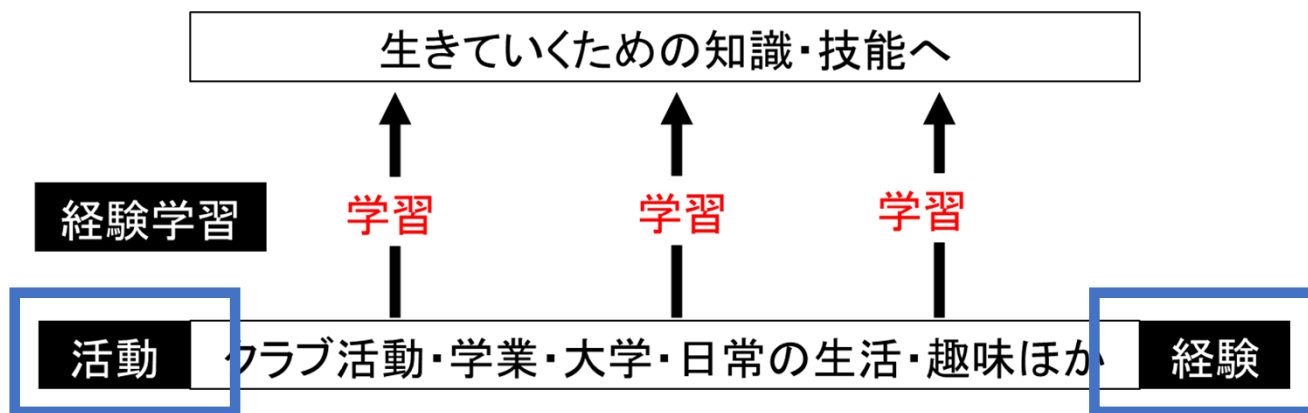
↳ やらなきゃダメ、例え同じことでも、**本**当の**意味**の成長はない。

3/7 監督から

「足の速いやつほど走塁に興味をもちなさい」
足が速いから、ステールはない、なんてことはない。ステールなどは足の速いとは関係なく、どれだけいいスタートがきれるかであったり、ベースランニングが速い、どの様なゴナリングをしたら、良い速いベースが打てるか、などたくさん考えられることである。だから走塁に興味をもちなさい。

経験学習

experiential learning



D. コルブの経験学習のサイクル

人生、うまくできたこともうまくできなかったことも、活かす
方次第で無駄にはならない

教職の授業で言われたこと

「10学んで1で教える」

→生徒に何かを教える時はその10倍言回ってその知識を分かりやすく要点をいぼって教える。何かを言う際、その場しのぎではなく、それによさわしい、それ以上の土台が必要であることを考えた。

練習の中で言われたこと

「主体性」

→自分で考え、判断する力。何事も指示待ちではなく能動的に動かなければ結果は出せないし、人を差をつけることはできない

バイトにて

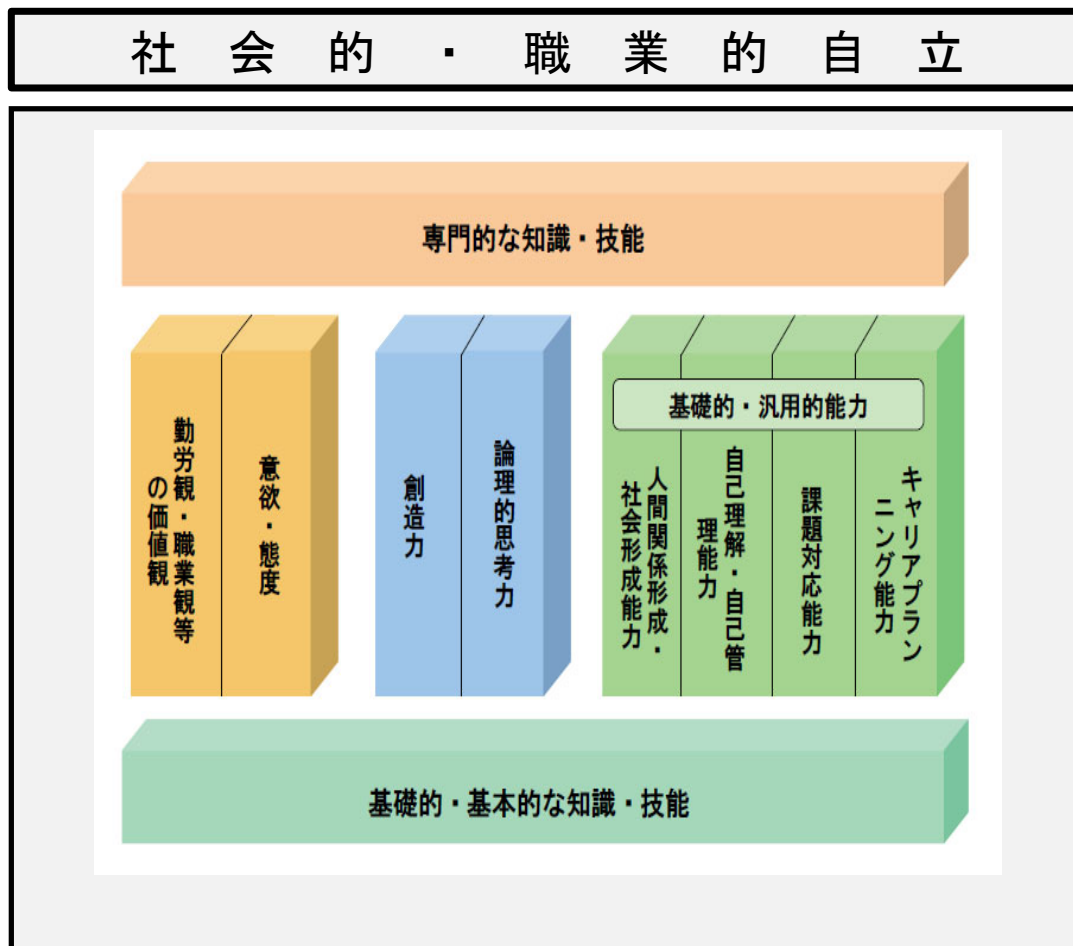
「ドラニテイング」

→マクドナルドでのバイト中、クーポンの配達員の受け取りの態度が非常に悪く、社員さんが「私たちへの態度が悪いのは最悪許せるが、それがお客さんへも伝わる態度のドラニテイングにも関わらずの不自覚をもってほしい。」と注意していた。
私も大学生としての立場や部活動での立場、バイト先での立場がどのようなところの一環であり、それにともなう責任が存在することを感じ、生活していきたい。

ノートの実例



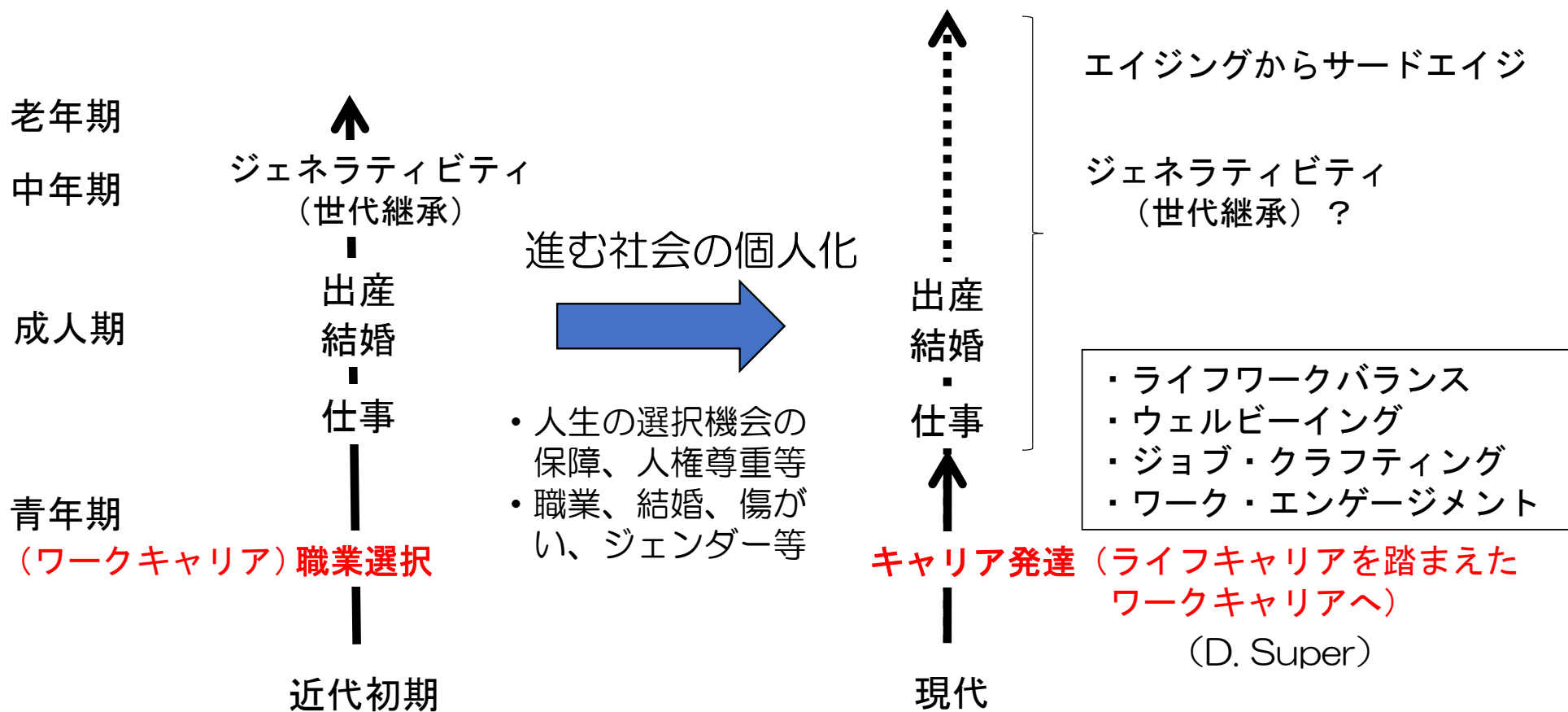
キャリア教育（形成・発達）とは



学術的には

職業選択からワークキャリアへ、そしてライフキャリアを踏まえて

人生100年（グラットン、2016）



(参考) D. スーパーのキャリア論 > 渡辺三枝子 (編) (2007). 新版・キャリアの心理学ーキャリア支援への発達のアプローチー ナカニシヤ出版

人生100年の時代「2007年生まれの半数が107歳まで生きると予測」



(出典) グラットン, L・スコット, A. (著) 池村千秋 (訳) (2016). ライフシフトー100年時代の人生戦略ー 東洋経済新報社